

2020(令和 2)年度 曽田豊二 SPIO 奨学金受領者 各100万円 所 属 留学先 留学期間 氏 名 留学目的 米国 University of 2020年4月1日~ 特殊な遺伝子改変マウスモデルおよび実験機器等 旭川医科大学 原渕 翔平 Pennsylvania 2023年3月31日 を用いた高度な基礎研究活動を行うため。 眼球運動を用いた平衡覚認知能の定量解析の研究 東京医科歯科 米国 The Ohio State 2021年1月21日~ 竹田 貴策 において直線や回転加速度を負荷する大型装置な 大学 University 2023年3月31日 どを用いて更なる解析をするため 蝸牛内の単一細胞の遺伝子発現の研究を行い、単 2022年3月~ 一細胞の遺伝子を解析し蝸牛全体ではなく単一細 University of 岡山大学 浦口 健介 Iowa Health Care 胞での遺伝子発現・変異の影響について解明する 2024年2月予定 ため 米国 Massachusetts 2020年9月8日~ 鈴木 法臣 慶應義塾大学 内耳基礎研究 Eye and Ear Infirmary 2022年8月31日

8

② 2021(令和3)年度 曽田 SPIO 研究助成金・奨学金の募集について 曽田豊二 SPIO 研究助成金(外国人) 1件当たり 月額25万円 曽田豊二 SPIO 奨学金 (日本人) 1件当たり 100万円 今年度の募集は、6月以降のホームページをご覧下さい。http://www.spio.or.jp

2020年度 SPIO Award

韓国 Geonho Lee, M.D. ▶

SPIO Award は、毎年 Auris Nasus Larynx(ANL)に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金(50万円)を贈呈しています(ただし、筆頭著者は45歳以下)。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり令和1年までに20名の受賞者を選出しました。

2020年度は、掲載された原著論文107編の中から候補対象となる72編を英文誌委員会のメンバーで審査し、最終的に SPIO Award 候補論文として 3 編が推薦されました。その後 SPIO 選考委員会および理事会で選考した結果、韓国 Dr. Geonho Lee が選ばれました。



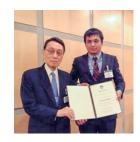
Geonho Lee: Neuropilin-2 promotes growth and progression of papillary thyroid cancer cells, ANL Vol.47, No.5, 870-880, 2020

平成27年度杉田SPIO研究助成金受領者の近況

順天堂大学 留学者 Nuermaimaiti Maola, M.D

私は、2013年12月に順天堂大学に入学してから甲状腺未分化癌の研究を行って、2020年に大学院を卒業しました。来日した留学の目的は、日本の先進的な医療技術を学んで、故郷のウイグルに戻って役に立ちたかったのですが、社会情勢が不安定になり戻る事が難しくなりました。

現在は、コロナの影響で医療関係の仕事は続けることができず、友達の会社で働いています。チャンスが





あれば、日本の医師免許を取得して、日本で耳鼻科の専門医として働き、自分の知識を深めながら、日本で生活し続けていきたいです。

今、妻と娘と3人で暮らしています。娘は小学生ですが、将来に医者になりたいと言う夢を持っています。将来、娘が日本で医師になれるように一生懸命育て、娘の夢を叶えるように頑張ります。